

令和 9 年 度

入学者選抜実技検査内容〔課題曲等〕

(大阪府立夕陽丘高等学校音楽科)

令和 8 年 9 月

大 阪 府 教 育 委 員 会

令和9年度入学者選抜実技検査内容〔課題曲等〕

実技検査として、次の「Ⅰ 共通検査」及び「Ⅱ 専攻別検査」を実施する。なお、実技検査の日程等については、令和9年度大阪府公立高等学校入学者選抜実施要項を参照のこと。

Ⅰ 共通検査

聴 音	(1) 旋律聴音 ・ 12小節程度の旋律を聴き、ト音譜表に書き取る。 ・ 調号が1つまでの長調又は短調で、臨時記号を含む。 ・ 四分の三、四分の四、八分の六拍子の中から出題する。
	(2) 和音聴音 ・ ハ長調の三声（密集位置）の和音を全音符で書き取る。
視 唱	(1) コールユーブンゲン ・ 第一巻三度音程（原書 No. 18）～ 六度音程（原書 No. 41）から、当日検査担当者が指定する1曲を見て歌う。
	(2) 新曲視唱 ・ 12小節程度の旋律を見て歌う。 ・ 調号が1つまでの長調又は短調で、臨時記号を含む。 ・ 四分の三、四分の四、八分の六拍子の中から出題する。
	コールユーブンゲン、新曲視唱については、移動ド唱法、固定ド唱法のいずれでもよい。

Ⅱ 専攻別検査

専攻実技は、次の(1)～(10)により実施する。

- (1) 専攻及び課題は別表のとおりとする。志願者は、それぞれの専攻の課題aとbの演奏を行う。
- (2) 専攻及び受験曲名等の申告票を、オンライン出願システムに登録し、出願時に提出する。なお、登録方法は(<https://www.pref.osaka.lg.jp/o180040/kotogakko/gakuji-g3/online-shutsugan.html>)を参照すること。また、出願後の記載内容の変更は認めない。
- (3) 管楽器専攻のサクソフォンは、ソプラノ・アルト・テナー・バリトンのいずれでもよい。打楽器専攻の演奏楽器は、小太鼓又はマリンバとする。
- (4) ピアノ、マリンバ以外の演奏楽器は、各自持参とする。ただし、コントラバス、小太鼓については、検査会場の楽器を使用してもよい。（弓、スティック、マレットは各自持参のこと。）
- (5) 声楽の専攻実技検査の伴奏は、検査担当者が行う。
- (6) 器楽の専攻実技検査は、無伴奏で行う。
- (7) 課題aについては、ピアノ専攻は暗譜とし、他の専攻は、検査担当者が当日用の楽譜を用意する。
- (8) 課題bについては、声楽、ピアノ及び弦楽器専攻は暗譜とし、管楽器及び打楽器専攻で楽譜を見て演奏する者は、各自当日用の楽譜（紙媒体の楽譜に限る。）を持参する。
- (9) 課題a、bともに反復記号は省略して演奏する。（ただし、管楽器及び打楽器については、反復記号の省略は任意とする。）
- (10) 声楽、管楽器及び打楽器の課題bについては、定められた期限に楽譜（写し）〔大きさはA4判・片面印刷〕を1部郵送または持参により提出すること。なお、提出にあたっては「Ⅲ 楽譜の提出方法」を参照すること。

Ⅲ 楽譜の提出方法

1 郵送による提出

楽譜の郵送にあたっては、次の点に留意すること。

- (1) 送付する楽譜（写し）〔大きさはA4判・片面印刷〕には、メモ等の書き込みをしない。
- (2) 楽譜（写し）の最終ページの裏面左下に、志願者名を記入する。
- (3) 封筒は角2封筒とし、楽譜（写し）は折らずに封入する。

また、楽譜（写し）はクリップで留めておく。

- (4) 楽譜は2月3日（水）必着で以下の住所に簡易書留により送付する。

送付先 〒543-0035

大阪府大阪市天王寺区北山町 10-10

大阪府立夕陽丘高等学校 事務室

※封筒の表面左側に「楽譜在中」と記入すること。

- (5) 封筒の裏面には、志願者の住所、名前、在籍している中学校等名を記入する。

【封筒の記入例】	
<表>	<裏>
□ 543-0035 大阪府立夕陽丘高等学校 事務室 御中 簡易書留 楽譜在中	大阪市天王寺区北山町 10-10 ◇市立△△中学校 ◇市△△町□□

2 持参による提出

持参による提出は「1 郵送による提出」の(1)～(3)に留意するとともに、2月2日（火）又は2月3日（水）の午前9時から午後4時までに大阪府立夕陽丘高等学校事務室まで提出すること。

(別表) 専攻及び課題

1 声楽 ※課題 a、b ともに反復記号は省略して演奏すること。

a 「コンコーネ 50 番練習曲」 第 5 番、第 15 番の 2 曲のうち、当日検査担当者が指定する 1 曲を、母音（ア・イ・ウ・エ・オのいずれか）で歌う。（楽譜を見て歌ってもよい。低声用、中声用、高声用のいずれかを用い、任意に移調しない。）		
b 次に示す 7 曲から任意の 1 曲を選び、暗譜で歌う。（歌詞は一番のみとする。）		
曲 名	作曲者名	調 性 等
夏の思い出	中田 喜直	ニ長調、変ホ長調、ヘ長調から選ぶ。
浜辺の歌	成田 為三	ヘ長調、ト長調、変イ長調から選ぶ。
早春賦	中田 章	ニ長調、変ホ長調、ヘ長調から選ぶ。
Caro mio ben	ジョルダニー	ハ長調、変ホ長調、ヘ長調から選び、原語で歌う。
Nel cor più non mi sento	パイジェッロ	変ホ長調、ヘ長調、ト長調から選び、原語で歌う。
Nina	ペルゴレージ	ニ短調、ホ短調、ト短調から選び、原語で歌う。
Sebben, crudele	カルダーラ	ハ短調、ニ短調、ホ短調から選び、原語で歌う。

※声楽の課題 b については、定められた期限に楽譜（写し）〔大きさは A 4 判・片面印刷〕を 1 部郵送または持参により提出すること。なお、提出にあたっては「Ⅲ 楽譜の提出方法」を参照すること。

2 器 楽

(1) 鍵盤楽器 ※課題 b の反復記号は省略して演奏すること。

ピ ア ノ	a J. S. バッハ：「平均律クラヴィーア曲集 第 1 巻」 第 13 番 嬰ヘ長調 BWV858 から、フーガのみを暗譜で演奏する。
	b 次に示す 6 曲のベートーヴェンのピアノソナタから任意の 1 曲を選び、その第一楽章を暗譜で演奏する。 第 2 番 イ 長 調 Op. 2-No. 2 第 7 番 ニ 長 調 Op. 10-No. 3 第 4 番 変ホ長調 Op. 7 第 11 番 変ロ長調 Op. 22 第 6 番 ヘ 長 調 Op. 10-No. 2 第 16 番 ト 長 調 Op. 31-No. 1

(2) 弦楽器 ※課題 b の反復記号は省略して演奏すること。

ヴァイオリン	a 専攻実技課題曲集 No. 1 ヴァイオリンの課題（楽譜を見て演奏してもよい。）
	b モーツァルト：協奏曲 第 3 番 (K. 216)、第 4 番 (K. 218)、第 5 番 (K. 219) の 3 曲から任意の 1 曲を選び、その第一楽章を暗譜で演奏する。（カデンツを除く。）
ヴィオラ	a 専攻実技課題曲集 No. 2 ヴィオラの課題（楽譜を見て演奏してもよい。）
	b H. エクレス：ソナタ（ト短調・ヴィオラ用、ポール・クレンゲル編による。）の第一楽章及び第二楽章を暗譜で演奏する。
チェロ	a 専攻実技課題曲集 No. 3 チェロの課題（楽譜を見て演奏してもよい。）
	b J. ウェルナー：「チェロ教則本」 No. 3、No. 6、No. 10 a、No. 11 a、No. 13 a、No. 17 a、No. 18、No. 20 の 8 曲から任意の 1 曲を選び、暗譜で演奏する。

コントラバス	a 専攻実技課題曲集 No. 4 コントラバスの課題（楽譜を見て演奏してもよい。）
	b F. シマンドル：「30 エチュード」 No. 1、No. 2、No. 3 の3曲から任意の1曲を選び、暗譜で演奏する。

- (3) 管楽器 ※課題bの反復記号の省略は任意とする。
※検査時間はaとbとを合わせて5分程度とする。

フルート	a 専攻実技課題曲集 No. 5 フルートの課題（楽譜を見て演奏してもよい。）
	b 任意の1曲（楽譜を見て演奏してもよい。）
オーボエ	a 専攻実技課題曲集 No. 6 オーボエの課題（楽譜を見て演奏してもよい。）
	b 任意の1曲（楽譜を見て演奏してもよい。）
クラリネット	a 専攻実技課題曲集 No. 7 クラリネットの課題（楽譜を見て演奏してもよい。）
	b 任意の1曲（楽譜を見て演奏してもよい。）
ファゴット	a 専攻実技課題曲集 No. 8 ファゴットの課題（楽譜を見て演奏してもよい。）
	b 任意の1曲（楽譜を見て演奏してもよい。）
サクソフォン	a 専攻実技課題曲集 No. 9 サクソフォンの課題（楽譜を見て演奏してもよい。）
	b 任意の1曲（楽譜を見て演奏してもよい。）
ホルン	a 専攻実技課題曲集 No. 10 ホルンの課題（楽譜を見て演奏してもよい。）
	b 任意の1曲（楽譜を見て演奏してもよい。）
トランペット	a 専攻実技課題曲集 No. 11 トランペットの課題（楽譜を見て演奏してもよい。）
	b 任意の1曲（楽譜を見て演奏してもよい。）
トロンボーン	a 専攻実技課題曲集 No. 12 トロンボーンの課題（楽譜を見て演奏してもよい。）
	b 任意の1曲（楽譜を見て演奏してもよい。）
ユーフォニアム	a 専攻実技課題曲集 No. 13 ユーフォニアムの課題（楽譜を見て演奏してもよい。）
	b 任意の1曲（楽譜を見て演奏してもよい。）
チューバ	a 専攻実技課題曲集 No. 14 テューバの課題（楽譜を見て演奏してもよい。）
	b 任意の1曲（楽譜を見て演奏してもよい。）

- (4) 打楽器 ※課題bの反復記号の省略は任意とする。
※打楽器専攻の志願者は、小太鼓又はマリンバで受験する。また、検査時間はaとbとを合わせて5分程度とする。

小太鼓	a 専攻実技課題曲集 No. 15 小太鼓の課題（楽譜を見て演奏してもよい。）
	b 任意の1曲（楽譜を見て演奏してもよい。）
マリンバ	a 専攻実技課題曲集 No. 16 マリンバの課題（楽譜を見て演奏してもよい。）
	b 任意の1曲（楽譜を見て演奏してもよい。）

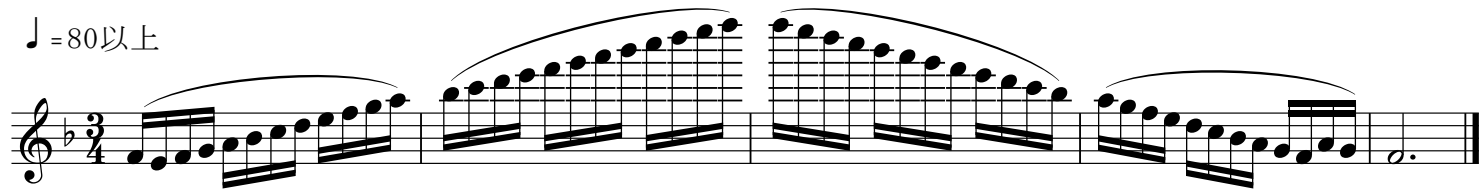
※管楽器及び打楽器の課題bについては、定められた期限に楽譜（写し）〔大きさはA4判・片面印刷〕を1部郵送または持参により提出すること。なお、提出にあたっては「Ⅲ 楽譜の提出方法」を参照すること。

専攻実技課題曲集

(注) 速度の指定がある場合は、それによって演奏すること。

No. 1 ヴァイオリンの課題

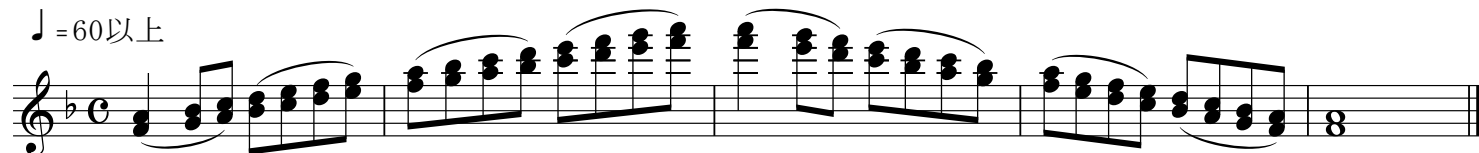
♩ = 80以上



♩ = 80以上



♩ = 60以上

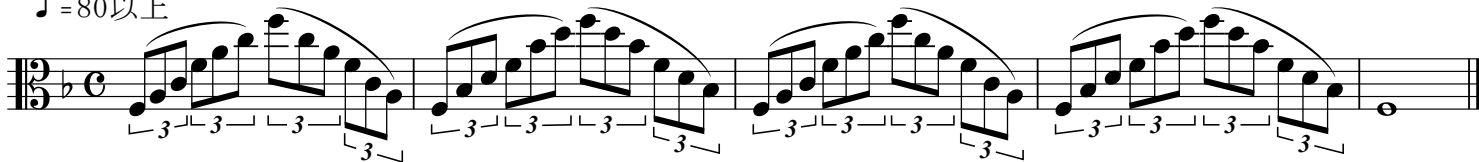


No. 2 ヴィオラの課題

♩ = 80以上



♩ = 80以上



♩ = 60以上

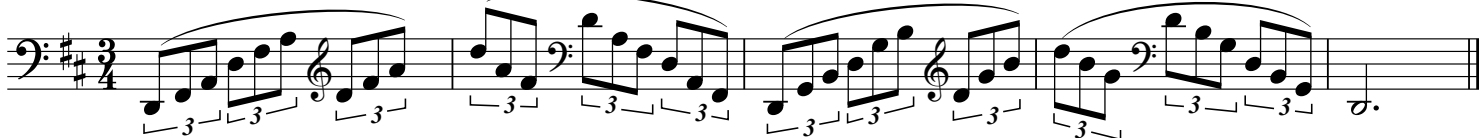


No. 3 チェロの課題

♩ = 80以上



♩ = 80以上



♩ = 80以上



No. 4 コントラバスの課題

♩ = 80以上



♩ = 80以上



No. 5 フルートの課題



No. 6 オーボエの課題



No. 7 クラリネットの課題 (in B $\flat$)



No. 8 ファゴットの課題



No.9 サクソフォンの課題 (アルト・バリトンはin E^b、ソプラノ・テナーはin B^b)

Musical score for Saxophone exercise No. 9, featuring various rhythmic patterns, triplets, and sixteenth notes. The score is written in a single system with a key signature of one flat (B^b) and a common time signature (C). The exercise includes several measures with triplets (marked with a '3' and a bracket) and sixteenth-note runs. The final measure of the exercise is marked with a double bar line.

No.10 ホルンの課題 (in F)

Musical score for Horn exercise No. 10, featuring eighth and sixteenth note patterns. The score is written in a single system with a key signature of one sharp (F) and a common time signature (C). The exercise includes several measures with eighth and sixteenth notes, some with accents. The final measure of the exercise is marked with a double bar line.

No. 11 トランペットの課題 (in B^b)



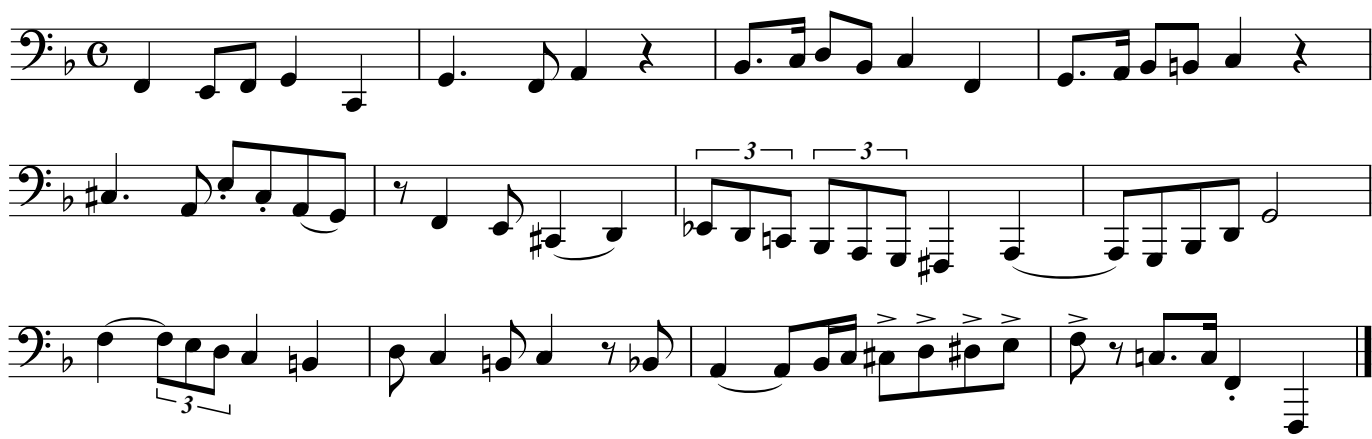
No. 12 トロンボーンの課題



No. 13 ユーフォニアムの課題



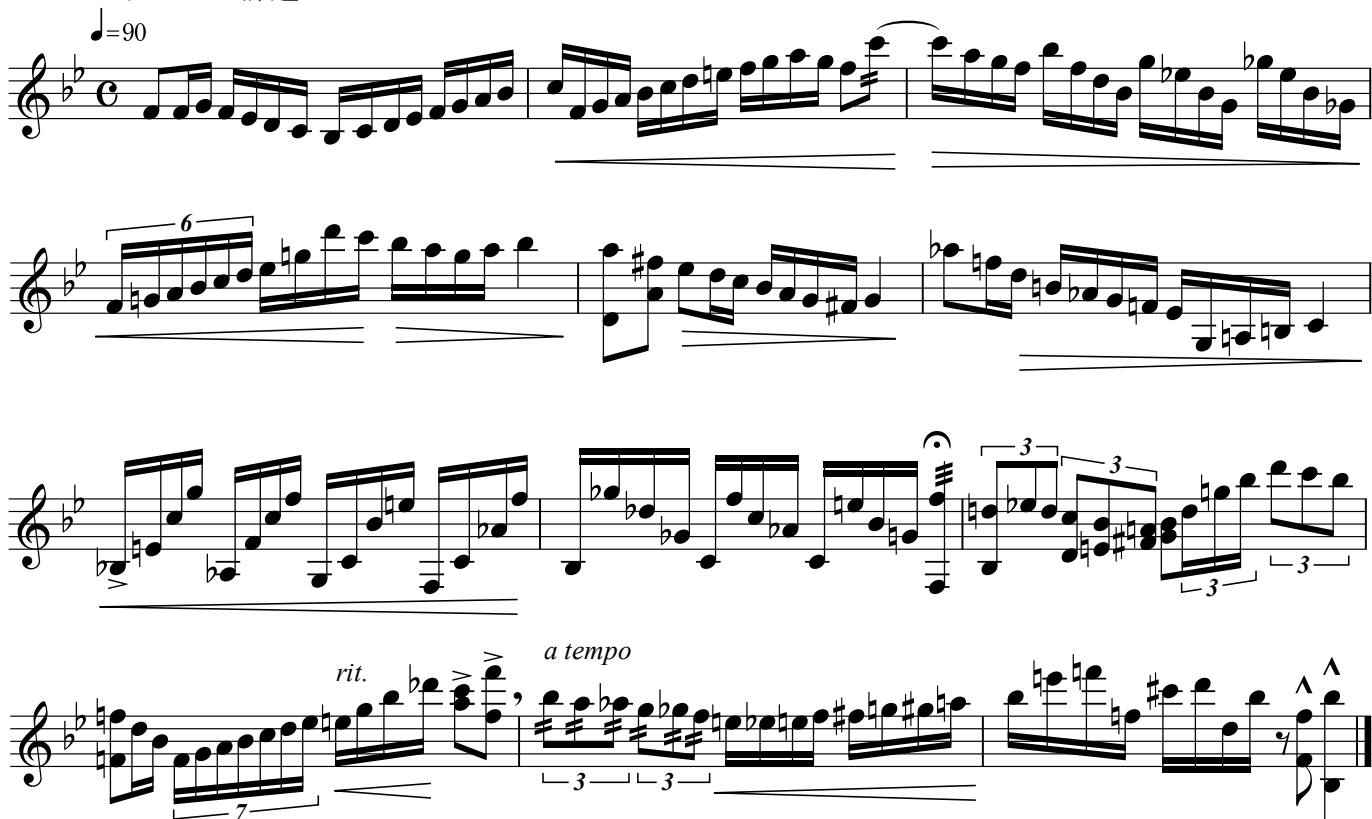
No. 14 テューバの課題



No. 15 小太鼓の課題



No. 16 マリンバの課題



専攻及び受験曲名等の申告票（令和9年度入学者選抜）

名 前	受験 番号	
-----	----------	--

- * A欄には、希望する専攻を選んで○印を記入すること。なお、サクソフォンについては、演奏する楽器の種類（ソプラノはS、アルトはA、テナーはT、バリトンはB）を○で囲む。
- * B欄には、A欄で○印をつけた専攻の課題についてそれぞれの指示に従って記入すること。
- * この申告票は、オンライン出願システムに登録し提出すること。なお、登録方法については府ウェブページ（<https://www.pref.osaka.lg.jp/0180040/kotogakko/gakuji-g3/online-shutsugan.html>）を参照すること。
- * 声楽、管楽器及び打楽器の課題bについては、定められた期限に楽譜（写し）〔大きさはA4判・片面印刷〕を1部郵送または持参により提出すること。提出する楽譜（写し）の最終ページの裏面左下に、志願者名を記入すること。

A欄	専 攻	B 欄 （ 受 験 曲 名 等 ）	
	声 楽	課題 a	「コンコーネ50番練習曲」第5番、第15番〔低声用 中声用 高声用〕（○で囲む。） ※出版社名を右の（ ）の中に記入する。（ ）
		課題 b	曲名を1つ選び下の（ ）に○を記入する。その調性について○で囲む。 （ ）「夏の思い出」……………〔ニ長調 変ホ長調 ヘ長調〕 （ ）「浜辺の歌」……………〔ヘ長調 ト長調 変イ長調〕 （ ）「早春賦」……………〔ニ長調 変ホ長調 ヘ長調〕 （ ）「Caro mio ben」……………〔ハ長調 変ホ長調 ヘ長調〕 （ ）「Nel cor più non mi sento」…〔変ホ長調 ヘ長調 ト長調〕 （ ）「Nina」……………〔ニ短調 ホ短調 ト短調〕 （ ）「Sebben, crudele」……………〔ハ短調 ニ短調 ホ短調〕
	ピ ア ノ	課題 a	J. S. バッハ：「平均律クラヴィーア曲集 第1巻」第13番 嬰ヘ長調 BWV858 フーガ
		課題 b	ベートーヴェン：ピアノソナタ〔第2番Op. 2-No.2 第4番Op. 7 第6番Op. 10-No.2 第7番Op. 10-No.3 第11番Op. 22 第16番Op. 31-No.1〕（○で囲む。） の第一楽章
	ヴァイオリン	課題 a	専攻実技課題曲集 No. 1 ヴァイオリンの課題
		課題 b	モーツァルト：協奏曲〔第3番(K. 216) 第4番(K. 218) 第5番(K. 219)〕 （○で囲む。）の第一楽章
	ヴィオラ	課題 a	専攻実技課題曲集 No. 2 ヴィオラの課題
		課題 b	H. エクレス：ソナタ（ト短調・ヴィオラ用、ポール・クレンゲル編による。）
	チェロ	課題 a	専攻実技課題曲集 No. 3 チェロの課題
		課題 b	J. ウェルナー：「チェロ教則本」〔No. 3 No. 6 No. 10a No. 11a No. 13a No. 17a No. 18 No. 20〕（○で囲む。）
	コントラバス	課題 a	専攻実技課題曲集 No. 4 コントラバスの課題
		課題 b	F. シマンドル：「30エチュード」〔No. 1 No. 2 No. 3〕（○で囲む。）
	フルート	課題 a	専攻実技課題曲集 No. 5～16 のうち、それぞれの楽器の課題曲
	オーボエ		
	クラリネット	課題 b	1～3について記入する。 1 曲名・作品番号等
	ファゴット		
	サクソフォン S・A・T・B		
	ホルン		2 作曲者名
	トランペット		
	トロンボーン		
	ユーフォニアム		3 編曲者名
	テューバ		
	小 太 鼓		
	マ リ ン バ		
コントラバス、小太鼓について、検査会場の楽器を使用 〔 する しない 〕 （○で囲む。）			



教育庁教育振興室高等学校課 令和8年9月発行
〒540-8571 大阪市中央区大手前2丁目／TEL06(6941)0351

